

千歳市市民協働推進会議議事録

会議名	市民協働推進会議（第7期 第6回）		
日時	令和元年 10月10日（木） 18：00～19：40	場所	第2庁舎1階第2会議室
出席者	委員：10人 事務局：3人（市民協働推進課長、市民協働推進係長、市民協働推進係主任）		

議題	<p>(1) 市提案型協働事業選考審査 【事業名】：ちとせの指定居宅介護支援事業所空き情報事業 【事業名】：市民協働活性化事業</p> <p>(2) ひと・まちづくり助成事業選考審査 【事業名】：支笏湖の歴史遺産「山線」を活用した地域活性化事業</p> <p>(3) その他</p>
決定事項	<p>(1) 市提案型協働事業選考審査 事業名：ちとせの指定居宅介護支援事業所空き情報事業 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 ●情報の更新頻度や内容を工夫するなど介護サービス利用者が活用しやすい情報の提供に努めていただきたい。</p> <p>事業名：市民協働活性化事業 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 ●参加者同士の意見交換の場を創出しながら、事業を進めていただきたい。また、市民活動未経験者が参加しやすくなるよう広報に努めていただきたい。</p> <p>(2) ひと・まちづくり助成事業選考審査 事業名：支笏湖の歴史遺産「山線」を活用した地域活性化事業 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 ●地元企業や観光と連携するなど広く周知することにより、一過性ではなく、継続した取組となるよう事業を進めていただきたい。</p>

◎委員 ■事業申請者 □実施担当課 ○事務局 ●附帯意見

<p>(1) 市提案型協働事業選考審査 【事業名】：ちとせの指定居宅介護支援事業所空き情報事業 <質疑応答> ◎利用料金が有料化するということだが、これまでの内容と特別変わった内容にならないのか。 ■ない。 ◎そうすると、利用者の負担が大きくなるので、有料化になっても満足いただけるサービスであることを見せていかないと運営している方がつらくなると思う。 □有料化については、前々から話があった。本来介護保険の所管は厚生労働省であるが、財政の逼迫状況から財務省が動いており、その施策の一つがケアプランの有料化あり、おそらく有料化していくと思う。内容については、現状のままの水準でやっていくと思う。また、通常であれば、民間事業者が自社のサービスはこうであると説明し宣伝すべきであるが、現状では、なかなかできないので、市の方で従前から事業所一覧など、最低限の情報を市のホームページを通して市民に提供している。本来であれば事業者が事業所の特色をアピールして利用者に選んでいただくものであることから、本事業については専門職がいるNPO法人と協働で行うのが良いと考えている。</p>

◎インターネットや紙で情報発信していくということであるが、インターネットや紙に載っているということ自体をどのように市民に発信していくのか。

□現状は、認定を受けた時に、居宅介護支援事業所に頼まないとサービスを受けられないので、認定を受けた方のところに送っているのと、市のホームページに載せている。しかし、制度自体なかなか難しいので、電話での問い合わせがあったり、窓口に来られたときに説明するなど対応している。

◎Aの事業所に行っていたけれども、Bに空きがあり、そちらのほうが自分に合っているという場合、移行できるのか。

□自由である。ただし、すぐ移動するというのは市として積極的に推奨することはできないので、今後は、しっかりと中身を見て選んでいただけるようにするため、多様な情報を提供していこうと考えている。ただ、市だけでは情報は提示できないので、NPO法人にも協力していただき事業を進めていこうと考えている。

◎今できていることは冊子を配ることか。ウェブページでは展開していないということか。

□ホームページには載っている。空き情報は毎月作成し、配布している。

◎さらにそれぞれの事業所についてわかりやすいようにサイトを拡充するという事は、この事業の目的か。

□ここのスタッフは医療に詳しいケアマネージャーがいるとか、どんな経験を積んできた方かなどの情報については現状ない。今は、ここの居宅介護支援事業所は空いているということと電話番号程度である。

◎空き情報は、今はホームページで見られないのか。

□ホームページで見ることはできます。

◎時々刻々と状況は変わっていきますよね。

□時々刻々にはできない。月1で更新しているが、事業者側から市にどういう状況か連絡をもらわないと把握できない。本来は空き情報を随時更新していくことが望ましいが、民間事業者は宣伝をしていただかないといけないのでその工夫と、一般の利用者がそのような情報に接することはないので、今後より中身がわかる内容を加えていくということである。ただ、今委員長がおっしゃった時々刻々と変わる情報については今後も課題になるかもしれない。

◎そのあたりがうまくインターフェイスができると良い。

【事業名】：市民協働活性化事業

<質疑応答>

◎市民協働リーダー養成講座は何年前に行った事業か。

□協働事業として平成22年度に基礎コース、平成23～24年度に応用実践コースとして行っていた。

◎人材の育成は時間がかかると思うが、推進していただきたいと思う。高校生以上をターゲットにしているということであるが、実施する日は、土日や祝日か。

■そうである。

◎非常に綿密な計画を立てられていると思う。これから市民活動してみようという団体にも人やお金が集まらないということはどう打開していくか、どういう手法で集めるかがよくわかる講座だと思う。2年目に開催する市民協働フォーラムの実行委員は、2年目の受講生全員がこのフォーラムの実行委員になるということか。

■それをテーマに、企画や予算等のことを学んでいくということにしている。

◎7回の受講が終わったあとにフォーラムをやると理解して講座に参加するということか。

■テーマが、フォーラムをつくるということでやっていくので、最終的にそういう形になると思う。

◎ただ受講しました、修了証もらいましたというだけではもったいないと思う。学ぶだけで終了ではなく、さらにもう一段上がる方法を期待します。

■承知いたしました。

◎大学生にも参加してほしいと思った。大学生は大学の行事や部活等で忙しいので、全て受講することが難しい可能性がある。たとえば、部活動の子たちが入れ替わりで参加できるようにすることはできないか。おそらく大学生は、テンポラリーな存在だとは思っているので、千歳市にとって必ずプラスになるかはわからないが、学生がそのような意識をもってくれることで、勢いはもちろん、何かを残していつてくれるという期待はある。大学生が参加しやすい仕組みを考えていただけると良い。高校生は、卒業後は千歳にいない子が多いと思うが、戻ってきて市民活動したりすることもあると思うので、広がりをもたせながら人材の育成をすると良いと思う。

◎参加費の1,000円というのは高校生でも大学生でも良いのか。

■そうである。今回は、欠席の方には先生の許す限りビデオを撮り、それをお貸しし、欠席分を補ったり、こちらのほうで講座の要約版を作成し、それを欠席者へお渡しすることをしたので、本事業でもそのような取組をしていきたいと考えている。

◎令和2年の公開講座の講師が予定となっており、それに対して謝金が具体的に記載されているが、予定ではなく決定なのか。

■予定になっているのは、講師の方とどうしても日程が合わない場合は、同等の方へ依頼しようと考えているが、現在はこの方々と考えている。

◎まだ決定ではないのか。

■はい。仮予約の状態である。

(2) ひと・まちづくり助成事業選考審査

事業名：支笏湖の歴史遺産「山線」を活用した地域活性化事業

< 質疑応答 >

◎山線のことを市民は知らない。市指定の文化財になっているにも関わらず、支笏湖に足を運んでも対岸に行くだけの橋だけという認識である。市民が知るべき財産だと思うので、これまで手付かずでいた部分を発信していただきたい。特に小中学生が知って千歳には自慢になるようなものをふるさと意識を育てていくことに対しても有効な働きかけだと思うので、ぜひ成功させてほしい。

◎支笏湖のビジターセンターの中で、山線の案内はしているのか。

■ビジターセンターではふれあい事業というもので、年間50回程度、週に1回ペースでイベントを行っている。その中で、今年から山線ウォークというものを始めた。ビジターセンターから昔の山線の線路をたどって、第一発電所まで行くという企画である。歩きながら自然観察し、山線の歴史なども説明しながら、第一発電所の上から下を眺め、帰ってきて鉄橋で説明をするという流れである。

◎展示施設というのはどのようなものか。

■日本宝くじ協会で公募事業に応募し、今年度採択された。既存の私どもの展示施設をリニューアルし、山線の歴史、支笏湖の歴史、温泉とヒメマス4つのテーマでそれぞれの歴史を振り返ってもらい映像を流す。他には、山線がどのように走っていたのか、ジオラマと鉄道模型で再現したいと思っている。

◎それはビジターセンターの近くにあるのか。

■ビジターセンターの真裏に私どもの財団が建てたパークハウスがある。そこに展示スペースがあるので、そこを活用し新しい映像技術や新たな展示施設をつくるということで考えている。そこに新しい技術を活用しながら、常に新しいもの新しいものをみなさんにお見せしていこうと思う。

(3) その他について

次回開催は11月下旬を予定。